

平成18年度(18年6月1日〜19年4月30日)

# 徳之島フラワーロードプロジェクトプロジェクト活動報告

徳之島「夢」振興会議フラワープロジェクト 村岡清男

私たちの島、徳之島に南国のカラフルな花をいっぱい植えて、わきや島を美ら島、フラワーアイランドにしようというプロジェクトがスタートして早5年目に入りました。ここに18年度の活動状況を報告いたします。

高新入生が入学記念の植樹を実施するようになった。わきや島のフラワー運動は次世代を担うこれら子供たちが中心となってその輪を広げつつあります。

18年10月13日、島内亀津ホテルニューにしだにおいて第1回徳之島フラワーサミットを開催した。

替えなどの目配り、気配りが必要、その体制を早急に確立すべきとの意見が大勢を占めた。都会在住者が浄財を提供し島内居住者有志は育成管理面を担当するという役割分担も確認しあった。

山の方々がわきや島のために応援して下さったという事に感謝感激と共に責任の重大さを痛感いたします。

①平成15年1月、徳之島「夢」振興会議代表団が会発足初の郷土訪問を行った折に島でのフラワー構想を提言し、大方の賛同を頂いたのが当会におけるフラワーロードプロジェクトのスタートとなった。

18年10月13日、島内亀津ホテルニューにしだにおいて第1回徳之島フラワーサミットを開催した。

官民の協体制についても実務的に構築していくことと、役場のフラワー担当はもっと強力なリーダーシップを発揮、指導的役割を果して欲しい。

協力が2件ありました。一つは「ふるさとのは一日たりとも忘れたことがない」と友人、知人に熱いメッセージ(レポート)を送り、その中にフラワー基金のチラシを同封して協力依頼してくれたのが天城出身の稲村公望氏、その呼びかけに164人の方々(ほとんどヤマトンチュ)から852千円の支援振り込みがありました。(別掲)

山の方々がわきや島のために応援して下さったという事に感謝感激と共に責任の重大さを痛感いたします。

②平成16年春、徳之島全島の小学校の新入生に入学記念の植樹を実施していただいたのを契機に、翌17年には全島の中学校で、18年度には徳之島高校が、19年春には樟南第二高校も参加し、徳之島全小、中、柱補強、肥料やり、土の入れ

③この会議には鹿児島県徳之島事務所長をはじめ、徳之島3町の担当幹部、商工会長、観光協会長、校長会、町会議員有志、区長有志、ワイド21徳之島有志、ライオンズクラブ有志など50数人が出席し、島のフラワー運動の取組みについて率直な意見交換を行った。

集落等では区長や老人会長、婦人会長らが中心になってボランティア有志を組織し、フラワー運動を盛り上げる推進役になって欲しいといった建設的な意見が出された。

その二は隣島の永良部ガス事業協同組合(原田孝志理事長)から徳之島の花運動に協賛して永良部ゆりの花の球根500個が寄贈された。

「夢」振興会議の皆さんは数年前から継続して島のために頑張って下さっている。その志を評価して私たちも仲間入りをした」と語り続けておりました。「継続は力なり」私たちの運動を大いに発奮させるものがあります。

④私たちのフラワー運動には島の基金が活用されています。協力の基金が活用されています。

この心暖まる支援、協力には只々の感謝あるのみです。

これまでも横田捷宏氏やその他のの方々のご紹介で島関係者以外の方々から熱いご支援を頂いているが、これほど沢

山の方々がわきや島のために応援して下さったという事に感謝感激と共に責任の重大さを痛感いたします。

山の方々がわきや島のために応援して下さったという事に感謝感激と共に責任の重大さを痛感いたします。

